

奈良高等学校の先生方へ

法学部 法律学科 3年
玉垣 秀地

(奈良県立奈良高等学校 2012年3月卒業)



拝啓

霜寒の候、先生方におかれましてはお元気で過ごしのことと存じます。

さて、私が奈良高校を卒業したのはもう4年も前のこととなってしまいました。眼を閉じると、毎日歩いた佐保川の景色や若草山のみどり、校舎のいちよう並木がいまでもなつかしく浮かんでまいります。

思えば入学当初から、個性的でたのしい仲間たちに出会い、所属していた野球部の活動にも明け暮れ、まさに青春を謳歌していたと思えます。奈良高校は勉学はもちろん、部活動も大変盛んな学校で、まさに「文武両道」と言うにふさわしい学校でした。しかし私と言えば、勉強はそっちのけで部活動にばかり打ち込んでいて、担任の先生方や進路指導の先生には多大なご心配とご迷惑をおかけしていたことと思います。部活動を引退し、受験に本腰を入れていこうという時期に、身の程もわきまえないで「東京の大学にいきたい」と言っていた自分に、決して無理だとは言わずにアドバイスをくださり、また親身になって対策を考えてくださった先生方には今でも感謝しております。

私の高校生活を振り返ると、その思い出のほとんどは部活動にあります。ほぼ毎日、始発電車に乗って野球部の早朝練習から始まり、帰宅するのは夜遅くという、とてもつらいはずの練習でしたが、まわりの素晴らしい仲間たちと切磋琢磨しながら、たのしくて刺激的な日々を送っていま

した。また、恩師である監督と顧問の先生には挨拶の基本をはじめ、本当にたくさんのことを教えていただきました。県下一恵まれな練習環境だと言われてもそれを言い訳にしてしまわないこと。当たり前なことを当たり前だと思わないこと。自分たちで練習の内容を考えて、試合でみつけた課題を自分の責任で克服して行くという、「自主創造」の校風をまさに具現化したような練習のシステム。当時の自分は特に何とも思っていませんでしたが、今となって先生方に教えていただいたことは非常に大切なことだと痛感しております。

私は現在、東京の大学に行くという夢も無事叶えることができ、学問に対する意思の強い学生に囲まれた中央大学という新たな学び舎に出会うことができました。法律という学問はとても難しいものですが、それ以上に奥が深く楽しいものです。高校生の頃とはとにかく勉強が嫌いで野球ばかりしていた自分が、自ら進んで行動すれば学問も楽しいものになると身をもって実感しました。その背景にはやはり、高校時代の「自主創造」、先生方の教えが基底にあるからだと思います。

最後になってしまいましたが、奈良高校の在校生の皆さんへ。奈良高校の先生方をはじめ、周りの仲間たちは本当に素晴らしい方ばかりです。三年間という限られた時間ですが、精一杯楽しんでください。そして是非、「自主創造」してみてください。そこで得たものは必ず宝となります。

敬具